

第2回日唱
コーラスフェスティバル
2019年2月27日(水)

豊洲シビックセンターホール

<出演団体>

Voce Musicale

女声コーラス枇杷の会

混声合唱団「四季の会」

赤い鳥合唱団

麻布 Dolce

OTO*FU

LSMC (ラ・サール メールクワイア)

ウエスト・ウェーブ

ビナ・フィオーレ

かなでるからだ特設合唱団

室内合唱団 日唱



～Program～

1. Voce Musicale

女声合唱アルバム「誰にもいわずに」より
わらい
色紙
私と小鳥と鈴と
このみち

指揮 白井 智朗 ピアノ 青山 由貴子
作詞：金子みすゞ 作曲：相澤直人

2. 女声コーラス枇杷の会

女声合唱曲集「悲しみ色のスケッチ」より
つないだその手は
うたを うたって あげたい
女声合唱曲集「すばらしき自然とともに」より
かたばみ

指揮 山崎 滋 ピアノ 松井 裕紀子
作詞：ゆきやなぎれい 作曲：信長貴富

作詞：さとう恭子 作曲：中田喜直

3. 混声合唱団「四季の会」

カッチーニのアヴェ・マリア
混声合唱曲集「落葉松」より
飛騨高原の早春
落葉松
オラトリオ「四季」より
Komm, holder Lenz! (来れ、のどかな春よ！)

指揮 松井 永太郎 ピアノ 大橋 響子
作曲：ウラディーミル・ヴァヴィロフ

作詞：岩間純 作曲：小林秀雄

作詞：野上彰 作曲：小林秀雄

台本：G・v・スヴィーテン 作曲：F.J.ハイドン

4. 赤い鳥合唱団

赤い鳥小鳥
かなりや
雨
なつめ
「童謡唱歌メドレーVol.1」より
青い目の人形～汽車ポッポ～うみ～この道

指揮 土屋 奈津子 ピアノ 松元 博志

作詞：北原白秋 作曲：成田為三 編曲：高橋勝司

作詞：西條八十 作曲：成田為三 編曲：高橋勝司

作詞：北原白秋 作曲：成田為三 編曲：高橋勝司

作詞：北原白秋 作曲：成田為三 編曲：高橋勝司

編曲：松本涼

5. 麻布 Dolce

The Lord Bless You and Keep You
混声合唱とピアノのための「花に寄せて」より
たんぽぽ
ばら・きく・なずな—母に捧ぐ—
Un Bacio a Mezzanotte (真夜中のキス) 作詞：ゴルニ・クラーメル 作曲：ガリネイ & ジョヴァンニーニ
さくらももこの詩による女声合唱曲集「ぜんぶここに」より
ぜんぶ

指揮 辻田 祐希 ピアノ 澤辺 明音

作曲：ジョン・ラター

作詞：星野富弘 作曲：新実徳英

作詞：さくらももこ 作曲：相澤直人

＊ ＊ ミニ講座「はじめてのグレゴリオ聖歌」 ＊ ＊

講師：渡辺 研一郎

～休憩（15分）～

6. OTO*FU

Gitam

OVER THE RAINBOW

ともだち

子守唄

指導 小川 恵子

詩：「サンスクリットの詩」より 作曲：エーロ・ハーメンニエミ

作詞：エドガー・イップ・ハーバーク 作曲：ハロルド・アレン

作詞：永六輔 作曲：いずみたく

作詞：立原道造 作曲：堀内貴晃

7. LSMC (ラ・サール メールクワイア)

I've Got Six Pence

My Blue Heaven

Swing Low, Sweet Chariot

You've Got A Friend In Me

積水ハウスの歌

指揮 大塚 雅仁

作者不詳

作詞：Walter Donaldson 作曲：George Whiting

作者不詳

作詞：Randy Newman 作曲：Randy Newman

作詞：小林亜星 作曲：一倉宏

8. ウエスト・ウェーブ

女声合唱アルバム「誰にもいわずに」より

露

わらい

このみち

さよなら

指揮 北添 智子 ピアノ 五十嵐 享子

作詞：金子みすゞ 作曲：相澤直人

9. ビナ・フィオーレ

二部合唱組曲「いのちの寓話」より

夢見草

女声合唱とピアノのための「愛の詩集」より

四月のうた

指揮 小屋敷 真 ピアノ 廣瀬 充

作詞：宮本益光 作曲：信長貴富

作詞：谷川俊太郎 作曲：松下耕

10. かなでるからだ特設合唱団

混声合唱とピアノのための「かなでるからだ」より

皮膚、肌

膝

骨

肩

指揮 岡田 知理 ピアノ 出川 智香子

作詞：みなづきみのり 作曲：森山至貴

11. 室内合唱団 日唱

混声合唱とピアノのための「赤い鳥小鳥」より

第1章

第3章

指揮 山崎 滋 ピアノ 松元 博志

作編曲：信長貴富

合同合唱

Ave verum corpus

作曲：Wolfgang Amadeus Mozart

～Profile～

Voce Musicale

1986年、小学校PTAたかとりコーラスとして発足。1989年に松村努先生をお迎えしてVoce Musicaleに改名。松村先生による第8回コンサートを終えて、2010年から白井先生に指導していただいています。ピアニストの青山先生は発足当初から伴奏者として私達を支えて下さっています。昨年から団員が増え、各パートに厚みが増し、より豊かな音楽表現を求めて一人一人が努力しています。2019年秋に上大岡ひまわりの郷で演奏会を行います。



指揮 白井 智朗

東京学芸大学卒業。合唱指揮を松村努、A・ソロヴィエフ、E・オルトナーの各氏に師事。第6回若い指揮者のための合唱指揮コンクール第2位。同時にエルヴィン・オルトナー・ファンダによる副賞を得て、アーノルド・シェーンベルク合唱団のツアーに参加。現在、神奈川と東京の合唱団で指揮・指導に当たるほか、客演指揮者や講習会の講師に招かれるなど、活動の場を広げている。合唱人集団「音楽樹」会員。



ピアノ 青山 由貴子

東京杉並区に生まれる。4歳よりヤマハ音楽教室に通う。その後『窓ぎわのトットちゃん』で有名な小学校の校長先生のお嬢様である本間みさを先生にピアノを師事。NHK「ピアノのおけいこ」出演をきっかけに弘中孝、久保陽子先生御夫妻にも師事する。また、高校時代より室内楽や合唱伴奏を始め、コールアミカル、ヴォーチェ・ムジカーレなど数々の合唱団の伴奏にあたり現在に至る。

女声コーラス枇杷の会

昭和51年に蕨市立中央公民館にて創立し、社会教育関係団体として合唱の活動を続けております。山崎先生には長年にわたり熱心に御指導していただき、私達は少しずつ成長を感じながら歌っております。会の活動は5年毎の周年記念コンサートの他、年間行事として埼玉県合唱祭や市民合唱祭、そして公民館の行事等に練習の成果を発表しております。これからも「心に響くハーモニー」を目指して、楽しく歌い続けていきたいと思っております。



指揮 山崎 滋

東京芸術大学指揮科に学ぶ。指揮を金子登、佐藤功太郎に師事。在学中より二期会オペラの合唱指揮者、副指揮者として活動を始め、小澤征爾、若杉弘等のアシスタントを多く務める。日本合唱協会第104回定期演奏会でプロデビュー。新国立劇場の開場に伴い、バイロイト音楽祭に派遣されN. バラッチェのもと研鑽を積む。2015年に一般社団法人日本合唱協会の理事長に就任。日本指揮者協会会員。



ピアノ 松井 裕紀子

桐朋学園大学音楽部作曲専攻卒業、同大研究科修了。室内楽の伴奏、小中学校でのアウトリーチ事業、オーケストラでのピアノ等演奏活動を行う。邦楽器を含む多種多様な楽器編成の作曲や編曲も手がける。現在桐朋学園大学附属子供のための音楽教室ソルフェージュ講師。Arts & Healthさいたま協力アーティスト。

混声合唱団「四季の会」

四季の会は1962年早稲田大学混声合唱団の卒業生を母体として発足し、ルネッサンス時代から現代まで幅広いジャンルの作品を演奏している混声合唱団です。月に3回木曜日の夜に杉並区を中心に練習を行っています。現役のオペラ歌手としてご活躍中のバリトンとソプラノの先生方による熱のこもった歌唱と発声のご指導により、合唱のレベルも日に日に上達の途上にあります。ホームページも是非ご覧下さい。「混声合唱団四季の会」<http://jahreszeitenchor.ifdef.jp/>で閲覧出来ます。



指揮 松井 永太郎

青森県八戸市出身、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。ベートーベン「第九」ヘンデル「メサイア」等の宗教曲の演奏会でバス・ソロを勤めると共に、数多くのオペラに出演し活躍中。市川市文化振興財団第30回新人演奏家コンクール声楽部門で最優秀賞を受賞。二期会会員、声楽アンサンブル歌譜喜、ヴォクスマーナ各団員。



ピアノ 大橋 響子

東京音楽大学卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。在学中、オーディション合格者による学内演奏会に出演。声楽、木管楽器奏者を中心に、コンクールやオーディション、コンサートのアンサンブルピアニストとして活動の場を広げる。室内合唱団 日唱をはじめ、多くの合唱団と共演している。東京音楽大学伴奏助手。

赤い鳥合唱団

大正7年、児童向け文芸誌「赤い鳥」が作家鈴木三重吉により創刊されました。三重吉の長女鈴木すずさんが、その赤い鳥童謡を現代に歌い継ごうと合唱団を立ち上げたのが平成2年、すずさん74歳の秋でした。発足当時からシルバークォラスでしたが、昨年3代目の指揮者に土屋奈津子先生を迎えて以来、ユーモアとバイタリティー溢れる指導と、松元先生の卓越したピアノに身も心も若返り、平成の先の代にも羽ばたき続けて参ります。



指揮 土屋 奈津子

国立音楽大学音楽教育学科卒業。Basic Rolfing® Trainings in Kyoto/Japan 修了。在学中に合唱指揮を松下耕、声楽を菅家美保子、菅家奈津子、ピアノを大黒康子、発声法を西島美子の各氏に師事。合唱＝身体楽器と呼ばれる故に、米国発祥の身体施術免許を取得し、現在は専門的な身体学を取入れた合唱指導を行う。日本合唱指揮者協会・日本ロルフイニング協会各会員。



ピアノ 松元 博志

国立音楽大学卒業。同大学院音楽研究科修士課程器楽専攻修了。これまでにピアノを大内裕子、大黒康子、山内直美、安井耕一の各氏に、室内楽を徳永二男、長尾洋史の各氏に、伴奏法を浅井道子氏に師事。室内合唱団日唱をはじめ多くの合唱団でピアニストを務め、声楽・器楽・合唱の共演者として様々な演奏会に出演している。

麻布 Dolce

広尾にある麻布学園の卒業生の母 35 名で 2006 年に結成された女声合唱団で、現在団員数は 90 名です。昨年に引き続いての出場になります。1 月から加未徹先生を指導者としてお迎えしました。今回は加未先生のご推薦でピアニストの辻田祐希先生に指揮をお願いすることになりました。月 1 回の練習ですが、親睦を深めながらも、さらなる向上を目指して密度の濃い練習を行っています。



指揮 辻田 祐希

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業、同大学院修士課程を修了。修了時にピアノ演奏優秀者に選出される。聖徳大学音楽学部講師。2017 年より麻布 Dolce ピアニスト就任。今回は指揮者として初舞台を踏ませていただくことになりました。皆さんと心を一つに頑張ります！



ピアノ 澤辺 明音

第 55 回東京国際芸術協会新人オーディション優秀新人賞。茨城県芸術祭県民コンサート茨城新聞社賞。その他「茨城の名手・名歌手たち」、日本音楽舞踊会議主催フレッシュコンサート等に出演。東京藝術大学附属音楽高等学校、東京藝術大学を経て現在同大学大学院 2 年在学中。これまでに上仲典子、深澤亮子、有森博の各氏に師事。

OTO*FU

私たちは結成 2 年のアカペラカルテットです。グループ名は「音符」をオトフと読みアルファベットにしました。ジャンルやパートに拘らず自分達にあった曲をみつけ時にはアレンジをしながら歌っています。「日唱コーラスフェスティバル」での演奏を機にレパートリーを広げたいとの思いから、今までにない緊張感のある練習を重ねることができました。今回のステージが良い経験になることを願っています。



LSMC (ラ・サール メールクワイア)

今回出演 4 回目のラ・サール メールクワイアです。メンバーは、鹿児島と函館のラ・サール学園OBです。このフェスティバルには、毎年の活動の総仕上げとして臨んでいます。土日の朝練が多いので、指導の大塚先生の奥様から「高校の部活みたいね(笑)」と言われていました。今回はディズニー映画「トイ・ストーリー」の主題歌など、パンフレットの写真とイメージが合うかどうかは別として、ちょっとおしゃれな男声合唱に挑戦しています。お楽しみください。



指揮 大塚 雅仁

群馬県生まれ。千葉大学法学科、東京藝術大学声楽科を卒業。武蔵野音楽大学別科を修了。声楽を堀内康雄、多田羅迪夫、野本立人、指揮法を今村能、森垣桂一の各氏に師事。栗山文昭氏のもとで合唱の研鑽を積む。オペラや宗教曲のソリストを務める傍ら、多数の合唱団の指揮・指導者として関わっている。合唱人集団『音楽樹』会員。

ウエスト・ウェーブ

私達ウエスト・ウェーブは、さいたま市の西部の小学校のPTAコーラスから始まりました。子供達は成人しましたが、コーラスの楽しさに魅せられた者達で歌い続けてきました。先生方のやさしく熱心な指導の下、金曜日の午前中楽しく練習しております。発表の場として、埼玉県合唱連盟・さいたま合唱連盟おみやに参加して埼玉県内で活動してきました。



指揮 北添 智子

埼玉県出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業。狩野了衛、松村健太郎、國土潤一各氏に師事。埼玉新演奏家連盟会員。大学在学中より日本古楽界のパイオニアである有村祐輔氏のもと、アンサンブルの研鑽を積む。卒業後、日本合唱協会に入団。ウエスト・ウェーブとは1996年からの付き合い。毎週楽しい時間を過ごしている。



ピアノ 五十嵐 享子

上野学園大学器楽科ピアノ科卒業。ピアノを酒井多可、長井恵に師事。学生の頃より声楽のピアニストを務める。ヤマハ音楽教室センター講師。ピティナ指導者会員。キーボードオーケストラ『楽』に参加。また、浦和混声合唱団「彩花」では合唱団員として活動。現在ウエスト・ウェーブのピアニスト。ピアノ講師。ボイストレーニング指揮者。

ビナ・フィオーレ

私たちビナ・フィオーレは、海老名市で活動をしている女声合唱団です。メンバーは、40代から80代と幅広い年齢層で、歌うことが好きな仲間が世代を超えて集まっています。コール・エコーという名前で発足してから41年で、ビナ・フィオーレと改名して15年になります。ビナは海老名のビナからフィオーレは、イタリア語の花を意味します。音楽の中で、歌声の花が開く様に表現したいと思います。本日はよろしく願いいたします。



指揮 小屋敷 真

武蔵野音楽大学卒業。卒業後は二期会、藤原歌劇団等で多くのオペラ公演に参加する傍ら日本合唱協会のテノールメンバーとしても活躍。全国の同団体の公演に携わる。ミュンヘン音楽大学で指揮法と声楽を学ぶ。二期会、藤原歌劇、日本オペラにおいては数々の副指揮、音楽スタッフを担当。藤原歌劇団の招聘した指揮者、A・ヴァダーニョに指揮を師事している。現在、約10団体の合唱団指導者として活躍中。



ピアノ 廣瀬 充

東京音楽大学ピアノ専攻卒業。様々な舞台やレコーディング、オーケストレーションアレンジや演奏会企画で活躍。和楽器をはじめとした他ジャンルとのコラボレーションにも力を入れている。第一線で活躍するオペラ歌手や奏者を集め、ジャンルにとらわれないコンサートシリーズを2009年より開始。特定非営利活動法人えむの集い代表

かなでるからだ特設合唱団

—『かなでるからだ』をみんなで歌いたい！

ただその一心で声をかけたところ、86名の大合唱団が誕生しました。今日はそのうち74名で演奏します。関東圏はもちろん、愛知・京都・福岡・熊本と、全国各地からメンバーが集結しました。昨年12月、顔も名前も知らないところからはじまり、手探りながらも思いを寄せあい早3か月。今日をもって解散です。私たちの「からだ」が「かなでる」音楽が、皆様の「からだ」に響きわたりますように。



指揮 岡田 知理

1994年長崎県生まれ。小学3年時にコーラス部に入部以来、合唱音楽の魅力に憑りつかれている一介の愛好家です。中学生の頃より合唱指揮の勉強をしています但未だ道のりの果てしなさしか感じません。現在は東京藝術大学音楽学部楽理科にて学問の道を歩み始めています。本日は『かなでるからだ』にふさわしく、のびのびと音楽を楽しみ、全身から湧きあがるものをまっすぐにかなでます。



ピアノ 出川 智香子

1996年神奈川県生まれ。現在はお茶の水女子大学で素粒子理論の研究をしています。幼少期からピアノのほかパイプオルガンやソルフェージュ、コーラスなどを学んでいました。ピアノ伴奏の経験は何度かありますが、『かなでるからだ』のピアノは伴奏というよりパートの一つといった感じがします。歌に寄り添いつつ、時として主張する、そんなピアノをかなでます。

室内合唱団 日唱

2014年、一般社団法人日本合唱協会（通称 室内合唱団 日唱）を設立。室内合唱団日唱は、1963年に日本初のプロ室内合唱団として設立され、1966年から25年間、山田一雄のもとで音楽的基盤を作り上げた日本合唱協会の意思を継承し活動している。その演奏は透明なハーモニー、緻密なアンサンブル、美しい音色、豊かな音楽性を有し、他の追随を許さない評価を得ている。年間6回の主催公演、地方公演の他TVラジオ出演、CM、CD録音、また全国の小中高校及び施設での音楽鑑賞教室への出演等、音楽普及に努めている。



<本日の出演>

指揮：山崎 滋 ピアノ：松元 博志

ソプラノ：大橋響子 片山沙緒里 黒田裕子 高麗文江 品川更紗

テノール：小嶋陽太 根岸一郎 堀越尊雅

アルト：大高守子 北添智子 菅沼安佐代 柳田文子 湯田佳寿美

バス：石井義典 大塚雅仁 白井智朗



ミニ講座講師：渡辺 研一郎

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。東京藝術大学院音楽研究科修士課程音楽学専攻修了。グレゴリオ聖歌の初期の記譜法である「譜線無しネウマ」の研究論文により修士号（音楽）取得。現在、アルベルネニューゲントコール、立教トリニティコール、行徳混声合唱団、常任ピアニスト。室内合唱団「日唱」、ピアニスト。ヴォーカル・アンサンブル カペラ、メンバー。フォンス・フローリス古楽院講師。日本グレゴリオ聖歌学会会員。

<<<日唱の情報はこちらから>>>

<http://www.nissho-chorus.com/>

 <https://www.facebook.com/info.nissho/>

 https://twitter.com/info_nissho



◆日唱コーラスフェスティバル実行委員会

チーフ：白井智朗

サブチーフ：品川更紗

大橋響子・黒田裕子・堀越尊雅・湯田佳寿美

チラシ・プログラム表紙デザイン：水本知佳子